

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大朧宗徳
 (J A S D A Q ・ コード 6 6 2 8)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 中野 宏
 電 話 0 6 - 6 2 2 6 - 7 3 4 3

平成 26 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

■業績予想の修正について

1. 平成 26 年 3 月期 通期業績予想値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想（A）	40,000	1,000	500	400	円 銭 6.50
今回修正（B）	36,000	280	△470	△480	△7.80
増減額（B－A）	△4,000	△720	△970	△880	－
増 減 率（％）	△10.0	△72.0	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 3 月期）	35,538	740	384	437	7.11

2. 修正の理由

欧米における販売の不振にともない、売上高については業績予想を下回る見込みとなりました。また、旧製品の在庫処分により販売価格が低下する一方、販売経費の増大等により、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。

当社グループは、付加価値の高い主力製品の開発や新規カテゴリ製品の市場投入を推進するとともに、企画・営業・生産の体制を刷新して事業責任を明確にし、マーケティングおよび営業力の一層の強化に努めてまいります。また、生産拠点の最適化を継続して推進し、今後さらなる固定費の削減や事業拠点および事業内容の見直し等を行うことで、経営基盤の強化を図ってまいります。さらには、他社との協業を深化拡大させることにより、事業構造の効率化を実現するとともに一層の事業拡大とさらなる業績向上に努めてまいります。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上